

定住
×
観光
×
防災

南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発
グランドデザイン完成報告



配置イメージ図（仕上りの素材や色は実施設計段階で決定します）

今から3年前の4月14日、16日の2度にわたり最大震度7の揺れが発生した熊本地震。この地震により高森駅と南阿蘇村の立野駅を結ぶ「南阿蘇鉄道」も甚大な被害を受けました。地域の公共交通の基軸であり、基幹産業である観光業を支える南阿蘇鉄道の復旧は、地域復興の鍵となります。高森町は阿蘇地域の創造的復興の一環として、南阿蘇鉄道の高森駅とその周辺を対象にグランドデザインを作成するため、後世に残る文化的資産の創造と地域の活性化を目指して熊本県が推進している『くまもとアートポリス事業』に参加しました。その中でまちづくり戦略の3つの柱である、

- 定住
- 観光
- 防災

をキーワードに公募型プロポーザルを実施しました。全国から応募があった39提案のうち、2回の審査を経て

基本方針

高森ならではの景観の
保全と創造

運行业務を機能的かつ快適に
行える駅舎の実現

快適な居場所となる交流施設
(ラウンジ)の実現

交通利便性を備え的確な情報を
提供する観光拠点の実現

安全かつ情報が集約された
防災拠点の実現

さまざまな視点から

住民参画により、広く意見を
募ろうと、これまでに5

最優秀賞に選ばれたのは東京都の株式会社ヌーブ一級建築士事務所の「とにかく広いプラットフォーム」が売りの提案。その公表会が3月23日(土)に行われました。
今号では、生まれ変わろうとしている高森駅のグランドデザイン案を紹介します。

回にわたり開催されたワークショップ。
テーマとなったのは、
■ 観光と定住について
■ 防災と交通について
■ 高森の風景について
■ 建物の配置計画について
■ プラットフォームの旅
の5項目。
ここで議論された様々な観点から出た意見や要望、そして上位関連計画との整合性などを踏まえ、5つの基本方針が掲げられました。



▲様々な意見が飛び出したワークショップ